



稲毛区

クローズアップ地区部会 301(作草部・天台)地区部会

“無理なく・できる人が・できる時に・できることを”
 ～ 301(作草部・天台)地区部会支え合いの会 ～



日常生活のちょっとした困りごと(ゴミ出し、電球交換、買い物支援など)の解決を住民同士の助け合いでお手伝いする取組みが、この4月、301(作草部・天台)地区部会でスタートしました。

『ずっと暮らしたいと思える作草部・天台地区』を目指し、「無理なく・できる人が・できる時に・できることを」をモットーに、地域の皆さんの思いが結実した取組みです。

「支え合いの会」は、14の町内自治会と地区民生委員児童委員協議会が協力し、町内自治会から82名の方が協力員を、また、14名の民生委員が利用者と協力員をつなぐコーディネーターを担っています。

4月はゴミ出し11件、草木の手入れ1件のニーズ依頼があり、8名の協力員が活動されています。

順調なスタートを切ったこの取組み。合言葉は、「困ったときはお互いさま!」

〈協力者さんの声〉

現在、ゴミ出し支援を利用しているのは一人暮らしの高齢の方が中心です。

回収するときに、一声をかけることで、ゴミ出しをきっかけにした、見守り・安否確認にもつながっています。

近隣の方たちは以前からお付き合いがあるので、今後も困りごとがあれば相談に乗りたいと思います。



〈利用者さんの声〉

年齢を重ねるにつれ、普通に生活していくことが色々大変になってきました。

協力員の方とは以前から顔見知りで、お付き合いがあり、ゴミ出しだけでなく、困りごとがあった時は相談に乗ってもらい本当に助かっています。【90代女性】



活動開始に尽力された支え合いの会 前会長 瓜生 澄江さんからのメッセージ

この活動は「地域の困りごとは地域で解決する」という皆の思いから始まりました。

地域には高齢者や障害のある方など、支援を必要とする方が多く暮らしていますが、「困っているから手助けしてほしい」と、自分から声を上げることがなかなかできません。「支え合いの会」そのものを多くの住民に知ってもらい、声を掛けあいながら困りごとの解決につなげていく活動を地域全体に広めていければと思います。

つなぐ・つながる・ひろめる 千葉市社協行動プラン策定! 重点取組項目

共に手を携える福祉社会の実現に向けて、本会では、今後3年間、次の6つの取組みを重点的に進めていきます。
(1面で紹介させていただいた活動は「(2)地域支えあい活動の促進」の事例の1つです。)



1 見守り活動の促進

コミュニティソーシャルワーカーが支援します。



最近お元気?



みんなで見守る仕組みづくりを支援します。



2 地域支えあい活動の促進

買物やゴミ出しなどのちょっとしたお困りごとをお互いに助けあう仕組みづくりを支援します。



3 ふれあい・いきいきサロンの促進



楽しく話して、運動して、高齢者が笑顔の街にしよう!



高齢者がいきいきと暮らしていけるよう支援します。

健康寿命を延ばそう!



4 社会福祉法人の地域における公益的な取組の相談・支援



社会福祉法人と地域がつながるよう支援します。



5 コミュニティソーシャルワーカーを中心とした生活支援の展開

コミュニティソーシャルワーカーを中心に地域課題を見つけ、支えあいの仕組みづくりや、個々の課題を支援します。



6 災害ボランティアセンター設置・運営に向けた体制整備

災害ボランティアセンターで活動していただくボランティアを養成し、災害時には速やかに災害ボランティアセンターを運営できるよう備えます。



詳細は、<http://www.chiba-shakyo.jp/shakyo/katsudokeikaku/> をご覧ください

どなたでも気軽に集まれるちょっとホッとする居場所
 「カフェたんぽぽ」が会場を変更してリニューアルオープン!!

カフェ たんぽぽ



リニューアルオープンを祝うかのように、庭にたくさんの「たんぽぽ」の花が咲いていました



現在ボランティアの登録人数は18名
 まずボランティアが楽しもう!を合言葉にしています。

「カフェたんぽぽ」は、平成 28 年 6 月に病院の空きスペースをお借りしてスタートしました。「認知症の方やそのご家族、また地域のお一人暮らしの方など、世代を問わず集まれる場所をつくりたい」という地域の声を、ボランティア・民生委員・ケアマネジャーなどの介護の専門家等の方々の協働により実現しています。

発足当初は、参加者よりボランティアの方が多かったような状況でした。しかし、徐々に地域の皆様にも知れ渡り、少しずつ参加者が増え始め、平成 29 年の冬頃には参加者がボランティアの人数を上回るようになってきました。



暮らしの中で困ったことや知りたいこと、介護の話、認知症の話など
 みんなで語り合え、助け合える
 コミュニティーづくりをみんなで一緒に...

そのようなとき、平成 30 年度末でこれまで使用していた会場が使用できなくなり、4 月より「土気子どもルーム」をお借りすることになりました。

しかし、子どもルームは数年前より休止しており、建物は全く使われていなかったために、敷地内には雑草がはびこり、室内も壁紙が剥がれ埃だらけでした。

せっかく人が集まるようになってきたカフェをお休みせずにつけたい!と気持ちを一つに 4 月のオープンに向け、ボランティアやその家族まで総出で除草作業・荷物の引っ越しや大掃除!!

何とか間に合った 4 月 5 日のリニューアルオープンの日には、それぞれが好きな席に座り、血圧を測る方、コーヒーやお茶を飲みおいしいお菓子をいただきながら好きなことをする方、おしゃべりをしたりして過ごす方いっぱいになりました。

お母様を連れて参加されたある方は、今ではボランティアの一人として欠かせない存在となっています。また、参加者の中には手先の器用な方もおられ、折り紙の先生として活躍中です。

主な参加者の声

- 皆様に会えて元気をいただいています。折り紙・ゲーム楽しみにしています。これからもよろしく。
- 今日初めて伺いました。これから大勢の方とお話ができるのを楽しみにしています。
- 始めて参加しました。これから楽しみにしております。

カフェのご案内

日時 毎月第1、第3木曜日 10時～12時

場所 ● 千葉市緑区あすみが丘1-44-7
 ● バスでお越しの方…土気駅南口より「創造の杜經由大椎町南」行き「公園通り北」下車

会費 200円

コーヒー・紅茶・緑茶などを
 ご自由に
 美味しいお菓子もあります♪

主催 カフェたんぽぽ

共催 千葉市あんしんケアセンター土気

お問い合わせ先 千葉市あんしんケアセンター土気
 ☎ 043-295-0110



予約は不要です。どなたでもお気軽にお越しください。